

## (6) 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

本学の教職課程では、教員として社会に羽ばたいていく人材の育成という視点に立ち、これからの教員に必要な資質・能力の習得を目指した教育活動ができています。

### ① 一人ひとりの学生に対する指導体制の充実

1学年の定員850名中、教員免許状を取得する学生は2%程度であるが、小規模であるからこそ、一人ひとりの学生を丁寧に指導できる体制が可能であり、教員として教育界に送り出すこともできている。具体的には、各学年で開講される「教育の基礎的理解に関する科目等及び教科の指導法」の科目（以下、「教職専門科目」と称する）の授業担当者により、各学年における学生の把握と指導ができています。1年次は教職入門・教育原理、2年次は教育心理学・道徳教育指導法、3年次は各教科教育法、4年次は教育実習・教職実践演習である。4年次生に対しては、一人ひとりの学生に対して教職専門科目担当教員の中で担当を定め、教育実習の訪問指導を含めた個別指導を行っている。また、各年度末には各科目の単位未修得者及びGPAが2.0に満たない者、さらに3年次以降は「教育実習参加資格要件」を満たしていない者等は成績不振者として教職課程担当教員から注意勧告が行われる。

教職専門科目を担当する教員5名中3名は中学校及び高校の教員としての経歴を持ち、そのうち2名が教育委員会や教育センターでの勤務経験がある。こうした実績を活かすことにより、地域社会・教育行政等と連携して学校教育を支援できる感性と指導力を身につけさせることが可能となっている。

### ② カリキュラム上の工夫

カリキュラムにおいては、実習校での教育実習を事前・事後指導によって補完する「教育実習Ⅰ」、実習経験から各自の課題を発見し解決に向けたプロセスを検討する研究協議会形式の授業研究を行う「教職実践演習（中・高）」、および本大学の教職課程で教職科目とキャリア教育の融合によって学生の資質・能力の伸長を図る「学校インターンシップ」、「教職教養」、「思考力開発」が特筆できる。

「教育実習Ⅰ」は3年次後期から4年次前期にわたって授業を15回実施する。3年次後期には、教育実習の心構えについての講義、中学校と高校での授業観察実習、4年次前期においては、実習直前の模擬授業、実習後には報告会などを行う。教育実習報告会では、教育実習を行った全員がその経験を報告し、教職課程を履修中の3年次生の多くが参加して実習生との質疑応答を行って自らの参考としている。

「教職実践演習（中・高）」では、教職課程履修生が主体となった研究協議会形式の授業研究を行っている。その目標は、教育実習の経験を通して得た気づき（特に授業実践に関すること）を学生一人ひとりが自分の課題として明確化し、その解決のために反省と改善を主体的に行うことができるようになることにある。授業は5段階で実施される。第1段階で、履修者は自らの教育実習を振り返り実践的課題を明らかにする。第2段階で、課題解決に向けた授業研究の意義と方法を優れた授業研究実践の資料や映像資料から理解する。第3段階には授業研究に向けて各人の役割分担などの具体的計画と準備を行う。そして第4段階で模擬授業と協議会（授業研究演習）を行い、最後に第5段階で授業研究の成果と課題の振り返りを行う。このうち、第4段階での模擬授業と協議会は観覧自由とし、教職履修者のみならず興味がある教職員・学生に対して公開し、さらには冊子『授業研究演習 研究授業・研究協議会のまとめ』を作

成している。

「学校インターンシップ」、「教職教養」、「思考力開発」は、科目区分では「キャリア科目」でありながら内容的には教職課程を補完、深化させる重要な科目となっている。「キャリア科目」群に教職に特化した科目が設定されていることは、教職課程履修者に大きなメリットをもたらしていると考えられ、近年、公立学校の教員採用試験に合格し、教員として就職する者が続いている要因の一つにもなっている。「教職教養」では、教員採用試験の筆記試験に重点をおいた対策授業であり、教育法規や教育史、教育時事の内容などを講義している。「思考力開発」では、教員採用試験の試験内容の中で近年重要視されている人物試験対策の授業で、論作文指導、出願書類の作成、面接指導を行っている。また、教師としての実践的な力量形成のための科目として「学校インターンシップ」がある。これは、2年次生以上を対象とし、60時間以上学習支援活動で2単位を認定する。大学近隣の中学校に学生を派遣しているが、利便性の高さ（移動に時間を要しないため、大学の授業の直前・直後から参加できる）が学生に好評であり、積極的な参加を促す一助となっている。参加に際しては、「教育実習のためのマナー講習」（2コマ）の受講が条件とされており、学校訪問時等のマナーを身につけて学校現場に関わるように指導を行っている。